

平成27年度社会体育事業実施状況

平成28年3月作成

平塚市教育委員会スポーツ課

事業名	実施日	会場	参加人員等
第64回市民総合体育大会 ニュースポーツ大会 ・バウンドテニス	6月28日	トッケイセキュリティ 平塚総合体育館	市内在住者（中学生は除く） 12チーム72人
小学校プール開放事業	夏休期間中の20日間	市内28小学校	小学生延べ24,910人
第52回平塚市少年野球大会	7月24日～8月2日	パッティングパレス 相石スタジオMひらつか他	合計 52チーム719人 小学生の部 38チーム516人 中学生の部 14チーム203人
平塚市民・大学交流事業 平塚市中学生陸上競技教室	7月26日	東海大学湘南校舎	市内中学生448人
第49回平塚市少年少女水泳大会	8月9日	トッケイセキュリティ 平塚総合体育館 温水プール	合計 287人 小学生(3～6年生) 252人 中学生 35人
第63回市民総合体育大会	8月23、30日	トッケイセキュリティ 平塚総合体育館 他	市内在住者(中学生は除く)3,677人
市体育功労者表彰式	8月23日	トッケイセキュリティ 平塚総合体育館	体育功労者7人(個人)
第44回平塚市少年少女剣道大会	10月4日	トッケイセキュリティ 平塚総合体育館	合計 206人 小学生(1～6年生) 92人 中学生 114人
第64回市民総合体育大会 ニュースポーツ大会 ・パークゴルフ	11月15日	湘南ひらつかパークゴルフ場	市内在住者（中学生は除く） 24地区120人
第64回市民総合体育大会 ニュースポーツ大会 ・トリムバレーボール	11月15日	ひらつかサン・ライフアリーナ	市内在住者(中学生は除く) 20地区237人
平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	11月15日 12月19日	総合公園内	小学生サッカー教室 109人 平塚市ロードレース大会 256人 中学生卓球教室 117人 合計 482人
平塚市民・大学交流事業 平塚市中学生バスケットボール教室	12月20日	トッケイセキュリティ 平塚総合体育館	市内中学生 177人
平成27年度平塚市市内駅伝競走大会 第62回市内地区対抗 第55回市内実業団対抗	1月10日	Shonan BMW スタジアム 平塚 ～山城中学校	地区対抗の部 23チーム 特別参加(伊豆市) 1チーム 実業団対抗の部 14チーム 合計214人
平塚市スポーツ優秀選手表彰	2月11日	ホテルサンライフガーデン	優秀選手 14人 優秀団体 2団体
平成27年度スポーツ指導者講習会	2月27日	青少年会館集會室	市内スポーツ指導者 167人
第46回平塚市少年少女マラソン大会	3月6日	Shonan BMW スタジアム 平塚及び総合公園内 ジョギングコース	合計 305人 小学生5・6年生 124人 中学生 181人

市総体 3677人

ニュースポーツ 429人

スポーツ指導者講習会 167人

その他 2838人

平成28年度 スポーツ課 当初予算（歳入）の概要

(単位 千円)

項目	本年度	前年度	増減額
13 使用料及び手数料	72	68	4
01 使用料	体育施設の敷地内の東電柱及び電話柱設置、自動販売機設置に伴う使用料		
01 総務使用料			
01 総務管理使用料	桃浜庭球場（電柱6本、支線2本、共架1基）、軟式庭球場（電柱3本、支線1本、共架1基）、王御住運動広場（電柱7本、支柱1本、支線3本、共架7基）自動販売機設置料（まちづくり財団軟庭2、桃浜2、大神1） 【主な増減の理由】桃浜庭球場電柱、支線の本数増加に伴う、使用料収入の増額		
13 使用料及び手数料	31,940	31,940	0
01 使用料	桃浜町庭球場等の使用料及び学校運動場夜間照明施設使用料		
08 教育使用料			
04 保健体育使用料	軟式庭球場、桃浜町庭球場、王御住運動広場、土沢野球場、大神スポーツ広場、パークゴルフ場使用料、学校夜間照明施設使用料（江陽中、大洋中、金目中、大住中、浜岳中、旭小、真土小、横内小、八幡小）		
20 諸収入	1,725	1,225	500
06 雑入	体育施設の電気使用料、自動販売機設置許可管理料、広告掲載料		
02 雑入			
09 教育費雑入	体育施設電気使用料（軟式庭球場、桃浜町庭球場、大神スポーツ広場管理棟、パークゴルフ場の飲料水自動販売機） 【主な増減の理由】ネーミングライツパートナー料収入の増額に伴う、広告掲載料収入の増額		
計	33,737	33,233	504

平成28年度 スポーツ課 当初予算（歳出）の概要

(単位 千円)

区 分	本年度	前年度	増減額	増減率(%)
06保健体育費	139,018	146,549	△ 7,531	△ 5.1
1 保健体育総務費	45,717	50,769	△ 5,052	△ 10.0
2 体育施設費	93,301	95,780	△ 2,479	△ 2.6

保健体育費「1 保健体育総務費」の事業内容

事業名	本年度予算額	前年度予算額	増減額
②保健体育庶務事業	3,304	4,360	△ 1,056
スポーツ課庶務事業経費。各種スポーツ大会、団体への補助金、市内スポーツ情報ポータルサイトの運営事業を含む。 【主な増減の理由】各種スポーツ大会、団体補助金及び負担金の減額			
スポーツ課一般経費（需用費・役務費・使用料及び賃借料等）・各スポーツ団体補助金（体育協会・レクリエーション連盟・体育振興連絡協議会）・各種大会補助金等			
③サッカー文化の振興によるまちづくり事業	2,180	2,428	△ 248
サッカー文化を振興するため、湘南ベルマーレスポーツクラブによる小学校巡回授業やコーチによるサッカー教室などを実施する。			
補助金			
④市民総合体育大会開催事業	4,095	4,158	△ 63
地域スポーツの普及・振興と地域住民の交流や競技力の向上を図るため、市民総合体育大会を開催する。			
看護員謝礼・表彰記念品・消耗品費（用紙、大会用具等）・大会運営、選手派遣委託料・会場使用料等			
⑤スポーツ推進審議会運営事業	407	543	△ 136
スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会委員により、審議会の開催やスポーツ大会等の視察を行う。 【主な増減の理由】スポーツ推進計画の策定が終了し、会議開催回数の見直しによる委員報酬の減額			
委員報酬			
⑥スポーツ推進委員活動事業	4,055	4,052	3
スポーツ・レクリエーション振興のため、地区住民に対してスポーツ・レクリエーションに関する指導、助言を行う。また、協議会を組織し、委員相互の連絡調整や各種大会、研修会に委員を派遣し、委員の資質向上を図る。 【主な増減の理由】予算削減による減額、及び消耗品費（ユニフォーム）の増額			
委員報酬・講師謝礼・研究大会等参加旅費・消耗品（ニュースポーツ用具購入費）等			
⑦各種スポーツ大会開催事業	7,135	7,820	△ 685
多様なスポーツ機会を確保するため、市内駅伝競走大会、少年少女大会などの各種スポーツ大会等を開催する。 【主な増減の理由】各種委託料の減額			
スポーツ教室等講師謝礼・看護員謝礼・表彰記念品・消耗品費（大会用具、事務用品）・大会運営委託料・会場使用料等			

事業名	本年度予算額	前年度予算額	増減額
⑧学校体育施設開放事業	4,100	4,898	△ 798
<p>健全な体育活動の普及や発展のため、小学校の体育館及びグラウンドを開放し、市民にスポーツをする場を提供する。大学生による小中学校体育施設個人開放事業を含む。 【主な増減の理由】運営委員会謝礼削減による委託料の減額</p>			
開放事業委託料・負担金			
⑨小学校プール開放事業	18,540	20,600	△ 2,060
<p>児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。 【主な増減の理由】開放日数縮減による委託料の減額</p>			
委託料			
⑩選手派遣事業	245	254	△ 9
<p>市民スポーツ振興のため、市町村対抗「かながわ駅伝競走大会」への選手派遣や全国大会などで優秀な成績をおさめた選手の表彰を行う。</p>			
表彰記念品・選手派遣委託料等			
⑪手話ダンスによる健康づくり事業	1,656	1,656	0
<p>手話とダンスを掛け合わせた手話ダンスを運動・スポーツのきっかけづくりとなるよう、手話ダンスグループによる公演やワークショップ（体験型講座）を実施する。</p>			
手話通訳者謝礼、公演委託料、ワークショップ委託料、指導者育成委託料、使用料等			

保健体育費「2体育施設費」の事業内容

事業名	本年度予算額	前年度予算額	増減額
①スポーツ施設活用事業	56,395	58,328	△ 1,933
<p>市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、各種体育施設の維持・管理・運営を行う。 【スポーツ課管理施設】大神スポーツ広場、王御住運動広場、土屋スポーツ広場、軟式庭球場、桃浜町庭球場、学校夜間照明施設。 【主な増減の理由】夜間照明点検委託料減額、施設修繕料の増額</p>			
消耗品・光熱水費・修繕料・建物損害保険料・施設管理委託料・土屋スポーツ広場借地料、大神スポーツ広場、軟式庭球場及び桃浜町庭球場指定管理料・原材料費・分担金等			
②土沢スポーツ広場（パークゴルフ場等）活用事業	36,906	37,452	△ 546
<p>市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため土沢スポーツ広場（パークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場）の維持・管理・運営を行う。 【主な増減の理由】光熱水費の減額</p>			
消耗品・光熱水費・施設修繕料・指定管理委託料・使用料及び賃借料・負担金等			

平成28年度平塚市社会体育関係行事予定表

平成28年3月作成

項目 月	市関係行事		全国・関東・県大会等
	大会・講習会等	会議等	
4月			
5月			
6月	26(日) 第65回市民総合体育大会/ハウント'テニス(総体) /パークゴルフ(パークゴルフ場)	4(土) 第53回少年野球大会抽選会及び監督・主将会議	3(金)～4(土) 関東スポーツ推進委員研究大会 (山梨県)
7月	7/21(火)～8/3(土) 小学校プール開放(28小学校) 7/22(金)～7/31(日) 第53回少年野球大会(球・大) 24(日)市民・大学交流事業中学生陸上教室(仮)(東海大学)	市民総合体育大会代表者会議	
8月	7(日) 第50回少年少女水泳大会(総体ブ) 21(日) 第65回市民総合体育大会(総体、平ア他) 28(日) 第65回市民総合体育大会(総体、平ア他)	21(日)市体育功労者表彰(総体)	
9月			23(金)～25(日) 第70回全国レクリエーション大会(岐阜県)
10月	16(日) 第45回 少年少女剣道大会(総体)		1(土)～11(火) 第71回国民体育大会 (岩手県・37競技)
11月	13(日) 第65回市民総合体育大会/トリム(平ア) 13(日) 市民・大学交流事業中学生卓球教室(仮)(総体) 27(日) 平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ(競)		17(木)～18(金) 全国スポーツ推進委員研究協議会 (福井県)
12月	18(日) 市民・大学交流事業中学生バスケットボール教室(総体)	市内駅伝競走大会監督会議	4(日) 第11回湘南国際マラソン
29年 1月	8(日) 平成28年度平塚市市内駅伝競走大会 /地区対抗・実業団対抗(総公～山城中)	9(月・祝) スポーツ団体新年の集い	1/下旬～2/下旬 第72回国体冬季大会(長野県)
2月	下旬 スポーツ指導者講習会	11(土) 平成28年平塚市スポーツ優秀 選手表彰	5(日)県スポーツ推進委員大会 (横浜市) 12(日)第71回かながわ駅伝競走大会
3月	上旬 第47回少年少女マラソン大会(総公・競・園) 26(日)第4回ひらつか市民スポーツフェスティバル (総公・総体・球・競)		

※()は会場 大→大神スポーツ広場 桃→桃浜町庭球場 軟→軟式庭球場 平ア→ひらつかサンライズアリーナ(ひらつかアリーナ)

下線は、ネーミングライツ
導入による「愛称」

総体→トクイセキリティ平塚総合体育館(総合体育館) 球→パッティングハウス相石スタジアムひらつか(平塚球場)

競→Shonan BMW スタジアム平塚(平塚競技場) 総公→総合公園 園→総合公園園路 馬サ→馬入ふれあい公園サッカー場

ニュースポーツ大会の方向性について（案）

開催経過

平成22年度にスポーツ振興審議会（現スポーツ推進審議会）から出された「市総体のあり方についての提言書」の中で「高齢者や初心者でも参加できるニュースポーツ競技などを導入する」ことが示されたことに伴い、平成23年度から3競技において市総体ニュースポーツ大会を実施。

実施種目

① トリムバレーボール、

平成4年度からスポーツ推進委員協議会主催により「ひらつかトリムバレーボール大会」を開催。平成23年度第20回大会から「市総体」として位置付け大会を実施

② パークゴルフ

平成22年10月にオープンした「湘南ひらつかパークゴルフ場」の周知啓発の一環として実施。

③ バウンドテニス

ニュースポーツ種目の中で大会運営可能な団体であると判断し、大会運営を委託。

実績

競技名 年度	トリムバレーボール		パークゴルフ		バウンドテニス	
	地区数	人数	地区数	人数	地区数	人数
23	22	261	22	88	7(合同3)	60
24	22	259	24	116	7(合同3)	55
25	22	258	24	120	9(合同2B1)	85
26	20	237	23	115	7(合同2B3)	72
27	20	237	23	115	7(合同1B4)	75

*Bチーム

方向性

ニュースポーツ大会を地区対抗・公開種目に分けて実施する。時期については、春季と秋季に実施

○トリム：秋季に地区対抗として実施

○パーク：春季に地区対抗として実施

○バウンド：地区対抗として実施するのではなく、公開種目として春季に実施する。

（理由）3か年の参加地区数が過半数を下回っているため。

第65回市民総合体育大会開催要項（案）

- 1 趣 旨 スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図ると共に、地域住民相互の親睦を図り、あわせて市民のスポーツの祭典とする。
- 2 主 催 平塚市教育委員会
- 3 主 管 平塚市体育協会
- 4 後 援 平塚市体育振興連絡協議会・平塚市スポーツ推進委員協議会・西相地区高等学校体育連盟
- 5 期 日 平成28年8月21日(日)・28日(日)
- 6 競技種目及び会場 (1) 競技種目は、得点の対象となる正式種目と、得点の対象にならない公開種目とする。
(2) 競技種目及び会場は別紙のとおり。
- 7 競技方法 (1) 地区対抗競技(地区体育振興会単位)とする。
(2) 団体競技については、各地区1チームとする。ただし、チームを編成することが困難な地区は合併(2地区に限る)して出場できる。
(3) 本要項に規定されている条項以外は、実施細目及び各競技別規則による。
- 8 表 彰 (1) 総合優勝地区に優勝旗、優勝杯、準優勝地区に準優勝杯を授与する。なお、総合成績6位までの地区に賞状を授与する。
(2) 各競技種目の優勝地区に優勝杯を授与する。なお、3位(ブロック優勝の場合は2位)までに賞状を授与する。
(3) 個人競技は3位までに賞状を授与する。ただし、陸上・水泳は優勝者のみ賞状を授与する。
(4) 次の条件に該当する1地区に敢闘賞(賞状)を授与する。
ア、 上位6位に入賞した地区を除き、前回大会との順位差が5位以上、上がった地区のうち最も順位差が大きい地区とする。
なお、該当する地区が複数の場合は、総合成績が上位の地区とする。
イ、 上記に該当する地区がない場合は、敢闘賞は授与しない。
- 9 順位の設定及び順位点 (1) 総合順位は正式種目競技の順位点を合算し、その得点の多い地区から順次決める。
(2) 競技別順位点は、参加地区数により決める。
参加地区数24地区：1位24点、2位23点、以下順次1点差とする。
参加地区数20地区：1位20点、2位19点、以下順次1点差とする。
同位の場合はその得点を合算し、平均割とする。
(3) 雨天等により競技中止となったときは、2回戦以上行った場合はその時点で順位を分ける。ただし、陸上は除く。
(4) 合併出場地区の得点は、順位得点を2分したものとする。

- 10 参加資格** (1) 参加申込み時に本市に住民票を有し、かつ居住する者で、住民票に記載された地区から出場すること。(地区体育振興会単位)
- (2) 公開種目及び個人戦は本市に住民票を有し、かつ居住する者とする。
- (3) 中学生以下は除く。
- (4) 同日開催競技への参加は、1人1競技とする。
- (5) 年齢計算は平成28年4月1日現在とする。
- (6) 監督が選手を兼ねるときは、選手として規定人員内で申し込むこと。
- 11 参加申込** (1) 正式種目は各競技別申込書に必要事項を記入のうえ、各地区で取りまとめて申し込むこと。
- (2) 公開種目は各競技別申込書に必要事項を記入のうえ、スポーツ課又は種目協会(連盟)へ申し込むこと。
- (3) 申込期日 平成28年7月 ○○日(○) 午後5時まで
※申込締切後は、一切受け付けない。
- 12 代表者会議** (1) 期 日 平成28年7月 △△日(△) 抽 選 会 午後6時20分～
及び抽選会 代表者会議 午後7時～
- 13 注意事項** (1) 選手変更は競技(両日にまたがる競技については両日とも可)の開始前までに、チームの責任者が文書をもって届け出て許可を得ること。但し、陸上競技については、当日の午前8時30分までに変更の手続きをすること。
- (2) 選手の変更は、エントリー数の2分の1を超えないこと。但し、射撃競技は2名、陸上競技は5名までの変更を認める。
- (3) 団体競技に無資格者があったときは、そのチームは失格とする。個人競技においては、その個人のみ失格とする。
- (4) 各競技において無資格者が発見された場合は、発見時をもって失格とする。失格の取り扱いは当該試合のみとし、以前の試合にはさかのぼらない。但し、失格となったチーム及び失格者が出たチームには、順位点は与えられない。
- (5) 出場チームのうち、同一の事業所及び学校(高校、大学)で登録人員の過半数を占めてはならない。
- (6) 各競技別申込書(団体競技)には、必ず「勤務先・学校名」を記入すること。
- (7) 無資格者に関する通報等については主催者、また、審判上の問題については、主管団体に対し、監督が明確な根拠をもって行うものとし、それ以外は一切認めない。
- (8) 異議申し立てに対して、事実関係を確認し、主催者及び主管団体で協議の上、無資格者に関することは主催者、審判上の問題は主管団体が決定する。
- (9) 異議申し立ては、当該試合終了前までとし、試合終了後は認めない。
- (10) 試合時刻に来ない者(チーム)は棄権とみなす。(各種目試合規定のとおり)
- (11) 参加選手は地区名を明記したゼッケンを付けること。
- (12) 選手宣誓の地区は、代表者会議に於いて抽選により決める。

第65回市民総合体育大会 ニュースポーツ大会

大会要項（案）

1 趣 旨

多様化するスポーツニーズに対応するため、親しみやすいニュースポーツ種目の大会を開催し、地域住民相互の親睦を図ると共に健康明朗な心身の育成を図り、明るく心豊かな市民生活の充実に寄与する。

2 主 催

平塚市教育委員会

3 主 管

平塚市スポーツ推進委員協議会、NPO 法人湘南平塚パークゴルフ協会、平塚市バウンドテニス協会

4 後 援

平塚市体育振興連絡協議会

5 期 日

パークゴルフ、バウンドテニス：平成28年6月26日（日）

トリムバレーボール：平成28年11月13日（日）

6 競技種目

種目	会場	詳細
トリムバレーボール	ひらつかサン・ライフアリーナ	開催要項
パークゴルフ	湘南ひらつかパークゴルフ場	競技別実施要項
バウンドテニス※	トッケイセキュリティ平塚総合体育館	競技別実施要項

※バウンドテニス競技は公開種目。

7 表 彰

各競技種目の優勝地区に優勝杯を授与する。

なお、3位（ブロックの場合は2位）までに賞状を授与する。

8 参加資格

(1) 参加申込時に本市に住民票を有し、かつ居住する者で、住民票に記載された地区から出場すること。（地区体育振興会単位）

(2) 公開種目（バウンドテニス競技）は本市に住民票を有し、かつ居住する者とする。

(3) 中学生以下は除く。

9 参加申込

(1) 各競技別申込書に必要事項を記入の上、各地区（地区体育振興会単位）で取りまとめて申し込むこと。

(2) 公開種目は、主管団体及びスポーツ課に直接申し込むこと。

10 申込締切

各競技実施要項、開催要項による。

11 監督会議及び組合せ抽選会

各競技実施要項、開催要項による。

12 失格事項

各競技において無資格者が発見された場合は、発見時をもって失格とする。失格の取り扱いとは当該試合のみとし、以前の試合にはさかのぼらない。

13 異議申し立て

- (1) 無資格者に関する通報等については主催者、また、審判上の問題については、主管団体に対し、監督が明確な根拠をもって行うものとし、それ以外は一切認めない。
- (2) 異議申し立てに対して、事実関係を確認し、主催者及び主管団体で協議の上、無資格者に関することは主催者、審判上の問題は主管団体が決定する。
- (3) 異議申し立ては、当該試合終了前までとし、試合終了後は認めない。

14 その他

- (1) 雨天時による開催有無の決定……………別紙のとおり
- (2) 負傷した場合……………会場担当者（スポーツ課職員又は主管団体）に連絡すること。
負傷状況により平塚市休日・夜間急患診療所又は救急車の要請をする。
※平塚市休日・夜間急患診療所 Tel:55-2145
※平塚市市民活動災害補償制度を適用する。

市民総合体育大会の種目に対する取扱い基準

1 目的

市民総合体育大会は、市民スポーツの祭典として歴史もあり、スポーツを通じた心身の育成や地域住民相互の親睦等を目的とし、もってスポーツの普及振興を図る事業として開催している。

競技種目については、地区体育振興会単位の対抗競技で得点を競う正式種目と得点対象とならない公開種目で実施しているが、地区対抗戦方式であることから正式種目として実施するための基準を設定し、公開種目との取り扱いを定めることとする。

2 基準

- (1) 地区体育振興会が24地区であることから正式種目の参加地区が半数（12地区）以下の状況が2カ年継続した場合、次年度は、公開種目として実施する。
- (2) 公開種目の競技について、地区体育振興会の半数を超える地区からの参加が認められる状況が2カ年継続し、次年度以降もその状況が見込まれ地区対抗戦として実施できる場合、次年度は、正式種目として実施する。
- (3) 継続する2カ年をこの基準を定めた当該年度と前年度から対象とするため、該当する種目がある場合、次年度に限り猶予期間とする。

3 その他

基準の変更や種目の実施内容等については、平塚市体育協会や該当種目協会及び平塚市体育振興連絡協議会と協議するとともに平塚市スポーツ推進審議会の意見を聴くものとする。

この基準は、平成26年1月30日から施行する。

平塚市スポーツ優秀選手表彰規定

(趣旨)

第1条 この規定は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第20条に基づき、スポーツの競技会において優秀な成績を収めた市内に在住する個人又は市内に所在する団体を表彰することについて必要な事項を定めるものとする。

(表彰の対象)

第2条 表彰の対象は、次条の基準に該当する個人又は団体を対象とする。ただし、高校生以下は除く。

(表彰の基準)

第3条 表彰は、次の各号の一に該当する個人又は団体に対してこれを行う。

- (1) 国際大会において優勝又は準優勝した個人又は団体
- (2) 全国大会において優勝した個人又は団体
- (3) その他前号と同等の実績であると市長が認めた個人又は団体

2 前項の大会は、毎年1月1日から12月31日までの間に行われるスポーツの競技会とする。

(表彰の手続)

第4条 スポーツ課長は、第2条の規定による表彰の候補者又は候補団体があるときは、別記様式により市長に推薦するものとする。

2 推薦に当たっては、表彰対象となる成績を残した大会要項、結果を推薦書に添付するものとする。

(被表彰者の決定)

第5条 被表彰者の決定は、前条による推薦を受け、市長が決定する。

(再表彰)

第6条 この要綱により既に表彰を受けた者であっても、別に表彰する理由が生じたときは、再度表彰することができる。

(表彰の方法)

第7条 この規定による表彰は、予算の範囲内において記念品を授与するものとする。

2 表彰の対象となった者が、その表彰前に死亡したときは、記念品をその遺族に対して贈るものとする。

(表彰の期日)

第8条 表彰の期日は、その都度市長が定めるものとする。

(その他)

第9条 この規定に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規定は、平成24年11月1日から施行し、平成24年1月1日から適用する。

平塚市スポーツ優秀選手表彰に係る事務取扱

1 推薦基準について

- (1) 被表彰候補者は、監督及び選手とし、大会当時平塚市内在住の者とする。なお、被表彰候補が団体の場合、その構成員について適用する。
- (2) 「平塚市スポーツ優秀選手表彰規定」(以下「表彰規定」という。)第3条第1項第1号における国際大会とは、オリンピック、パラリンピック、競技別世界選手権大会、ユニバーシアード、アジア競技大会等に類した複数国が出場する競技大会とする。なお、特定の国・チームとの交流目的の大会については、対象としない。
- (3) 表彰規定第3条第1項第2号における全国大会とは、国又は全国的な競技団体が主催し、次の者が出場権を得る大会とする。
 - ア 市・県・関東地区大会等の予選会を勝ち抜いた者
 - イ 標準記録突破等の条件を満たした者
 - ウ 県など上部団体から推薦を受けた者

2 推薦の手続について

被表彰候補者の募集については、平塚市体育協会各加盟団体及び東海大学並びに神奈川大学に照会をするとともに、スポーツ課のホームページに掲載し、広く募集を図ることとする。また、表彰基準を満たす者が市長への表敬訪問を行った場合、当該被表彰候補者である旨を案内するとともに、推薦書の提出を依頼する。

スポーツ課が推薦書の提出窓口となり、取りまとめを行い市長に推薦するものとする。

3 被表彰者の決定について

決定の報告を受けたスポーツ課は、受賞が決定した者に対して、決定のお知らせとともに、表彰式への出席案内を送付する。

4 表彰式出席者について

平塚市スポーツ優秀選手表彰式出席者は、被表彰者本人のみとする。なお、団体表彰の場合表彰式出席者は1団体につき概ね3名とする。

スポーツ団体等に対する支援その他の援助規程

制定 平成24年 3月27日

改正 平成25年 3月 8日

平成25年 6月20日

平成25年12月19日

(趣旨)

第1条 この規程は、市民スポーツ活動を通して、市民相互のふれあいと地域住民の連帯意識を高めながら、市民が生涯にわたってスポーツ活動を継続できるよう、公益財団法人平塚市まちづくり財団が行う支援金の交付、指導者の派遣及び優秀選手の表彰について必要な事項を定めるものとする。

(支援金交付の対象)

第2条 支援金交付の対象は、国際団体、国、地方公共団体又は日本体育協会（加盟団体を含む。）が主催する大会（同一業者及び大学生間の大会を除く。）に出場し次に掲げる成績を収めた市内に在住する個人、市内に所在する団体（市内に居住する者が過半数を占め、組織するものに限る。）又は市外に所在する団体に所属する市内に居住する個人とする。

- (1) 国際規模の大会に出場した者
- (2) 全国規模の大会に出場し8位以上の成績を収めた者
- (3) 関東規模の大会に出場し3位以上の成績を収めた者
- (4) 前3号に準ずるものとして理事長が特に認めた者

(支援金の額)

第3条 支援金の額は、原則として別表に定めるとおりとする。

(支援金交付申請)

第4条 支援金交付申請を行うものは、別に定める申請書に当該大会での成績を証する書類、開催要項、出場者名簿、予選会の結果等の書類を添付して理事長に提出しなければならない。

(支援金交付決定)

第5条 理事長は、前条の申請により支援金交付について適否の決定を行い、申請者に通知し、適当と認めた場合には、支援金を交付するものとする。

第6条 削除

(財団指導者派遣)

第7条 市内に居住する者が15人以上で組織する団体（この条において「団体」という。）の申出により財団指導者を派遣するものとする。

- 2 財団指導者の派遣は、1団体1年につき1事業とし、3日以内とする。
- 3 財団指導者の派遣に係る必要経費は、団体の負担とする。

(会場使用料の援助)

第8条 市内に居住する者で組織する団体が主催する全市的に一般市民を対象とした大会に係る会場使用料（付属施設使用料を除く。以下同じ。）について、当該団体の申出により援助するものとする。

- 2 会場使用料の援助の範囲は、1団体1年につき1回とし、大会の開催に係る1日分の会場使用料の額の半額とする。ただし、その額が3万円を超える場合は、3万円とする。

(優秀選手の表彰等)

第9条 理事長は、第5条の規定により支援金の交付を受けたもののうち市内に居住する小学生、中学生及び高校生又は市内に所在する団体（市内に居住する小学生、中学生及び高校生が構成員の過半数以上を占めるものに限る。）が次の各号に掲げる成績等を収めたときは、その者を優秀選手として表彰するものとする。

- (1) 国際規模の大会に出場した者

- (2) 全国規模の大会において第8位以上の成績を収めた者
- (3) 関東規模の大会において第3位以上の成績を収めた者
- (4) その他理事長が特に認める成績等を収めた者

2 前項に規定する優秀選手の表彰は、賞状及び記念品を贈呈する。

3 理事長は、国、地方公共団体及び日本体育協会（加盟団体を含む。）が主催する全国規模の大会又は理事長が特に認める大会に出場した次の各号に掲げる者（第1項の規定により表彰を受けたものを除く。）に、スポーツの奨励として記念品を贈呈するものとする。

- (1) 市内に居住する小学生、中学生及び高校生
- (2) 市内に所在する団体（市内に居住する小学生、中学生及び高校生が構成員の過半数以上を占めるものに限る。）
- (3) その他理事長が記念品の贈呈を特に必要と認めた者

（改廃）

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

（その他）

第11条 この規程に定めるもののほか、スポーツ団体等に対する支援その他の援助について必要な事項は、理事長が別に定める。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年6月28日から施行する。

附則

この規程は、平成25年12月19日から施行し、この規程による改正後の第9条の規定は、平成25年4月1日から適用する。

別表（第3条関係）

大会の種類		国際規模の大会	全国規模の大会	関東規模の大会
個人	市民	20,000円	10,000円	5,000円
団体	事業所	50,000円	30,000円	20,000円
	学校			
	クラブチーム			

備考

- 1 個人を適用する場合、同一団体から複数の支援金交付対象者があり団体の金額を超えるときは、団体の金額とする。
- 2 オリンピックその他これに類する大会に係る支援金の額は、その都度、理事長と協議する。
- 3 県内で開催される関東規模の大会及び全国規模の大会に係る支援金の額は、表に定める額の半額とする。
- 4 同一大会での個人と団体との重複は、認めない。
- 5 個人・団体ともに国際規模の大会に係る申請は、各年度1回とする。全国規模の大会及び関東規模の大会に係る申請は、申請対象が同じ種類での全国規模の大会及び関東規模の大会であるときは、これを同一の大会とみなして、各年度で申請者が希望するいずれかの大会の1回とする。

平成27年平塚市スポーツ優秀選手及び団体

【個人】

(敬称略・50音順)

氏名	大会名	競技・種目	成績
朝比奈 沙羅	第28回ユニバーシアード競技大会	柔道女子 78kg超級	優勝
氏家 一郎	第25回 全日本実業団ベンチプレス (ノーギヤ)選手権大会	ベンチプレスMII男子 120kg超級	優勝 (155kg)
ウルフ アロン	グランプリ・ウランバートル2015 グランプリ・タシケント2015	柔道男子 100kg級	優勝
小原 肇哉	第28回ユニバーシアード競技大会	柔道団体戦	優勝
阪部 創	文部科学大臣杯 2015年度全日本学生レスリング選手権大会	グレコローマンスタイル 75kg級	優勝
阪本 健介	平成27年度全日本学生柔道大会体重別選手権大会	柔道男子 100kg級	優勝
下石 涼太	第28回ユニバーシアード競技大会	野球競技	優勝
高藤 直寿	ワールドマスターズ・ラバト2015 グランドスラム・パリ	柔道男子 60kg級	優勝
外山 尚人	第25回 全日本実業団ベンチプレス (ノーギヤ)選手権大会	ベンチプレスMII男子 66kg級	優勝 (147.5kg)
長澤 憲大	第28回ユニバーシアード競技大会	柔道団体戦	優勝
平栗 邦光	第34回 全日本実業団パワーリフティング (ノーギア)選手権大会	パワーリフティング MII男子 74kg級	優勝 (445.5kg)
ベイカー 葉秋	グランドスラム・チュメニ	柔道男子 90kg級	優勝
米沢 茂友樹	天皇賜盃第84回日本学生陸上競技対抗選手権大会 2015日本学生陸上競技個人選手権	陸上競技 (円盤投げ)	優勝
吉田 侑樹	第28回ユニバーシアード競技大会	野球競技	優勝

平成27年平塚市スポーツ優秀選手及び団体

【団体】

(敬称略・50音順)

東海大学 柔道部		
平成27年度 全日本学生柔道体重別団体優勝大会	柔道 団体	優 勝
監督	上水 研一朗	
選手	高藤直寿、竹内文汰、高市賢悟、俵隆太、片岡辰哉、高梨優也、小原拳哉、尾方寿應、長澤憲大、ベイカー茉秋、阪本健介、ウルフアロン、上林山裕馬、影浦心	
東海大学 自動車部		
平成27年度 全日本学生ダートトライアル選手権大会	自動車 団体	優 勝
監督	松木 三徳	
選手	飯田輝、齋藤巧	